

2022/11/17

報道各位

株式会社三菱地所設計

台湾台北市「(仮称)台北国賓大飯店建て替え計画」 解体工事着工のお知らせ

株式会社三菱地所設計（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：林 総一郎）は、2020年より当社が計画を手掛けてきた台湾・台北市にある老舗ホテル「台北国賓大飯店(台北アンバサダーホテル)建て替え計画」が、このたび解体工事を着工しましたので、お知らせいたします。



北西側外観イメージ

計画地は、台北市の幹線道路である中山北路に面し、台北駅と台北松山空港からのアクセスが良く、国内外の観光客をはじめ、地元の人々も訪れる大変賑わいのある場所です。台北国賓大飯店(台北アンバサダーホテル)は、この地に1964年に台湾初となる5つ星国際観光ホテルとして開業し、多くのゲストに愛されてきましたが、建物が築60年を迎え、台湾の老朽化施設の建て替えを促す条例の適用対象となり、建て替え計画を決定しました。2022年11月より解体工事を着手し、2027年春に竣工予定。竣工後は株式会社パレスホテルが運営を担う、海外第一号のホテルとなる予定です。

計画概要

名称：（仮称）台北国賓大飯店建て替え計画

所在地：台湾 台北市中山区

事業主：國賓大飯店股份有限公司

用途：ホテル、集合住宅

構造規模：地上 SRC 造、地下 RC 造／地上 23 階、地下 6 階

竣工予定：2027 年

デザイナー・アーキテクト：株式会社三菱地所設計（建築・ランドスケープ・ライティング）

建物について

本計画は、ホテル棟とハイグレードな分譲住宅棟の 2 棟、およびそれぞれの共用部や飲食店舗など付属施設からなる基壇部とで構成される複合施設です。計画地は台北の旧市街と新市街が交わる場所にあり、観光客だけでなく地域に暮らす人々が交錯します。この歴史や文化、人・街・自然が融合する場にふさわしいデザインを検討し、「Neo Classic」をコンセプトに掲げました。ホテルの伝統を継承しながら、新しい時代を開くデザインへと昇華させ、新たな台北市の街のシンボルとなることを目指しています。